

項目及び
決算額
(単位:千円)

事業の執行状況

(4) 消防の諸活動

ア 警防活動の状況

(ア) 火災出動

火災出動件数は19件で、前年度より3件増加した。
火災による損害額は、23,589千円であった。

火災の種別	出動件数		増減	H30年度の主な出火原因
	H30年度	H29年度		
建物火災	9	6	3	ストーブ、風呂かまど
車両火災	2	2	0	排気管
林野火災	0	0	0	
その他	8	8	0	たき火、火入れ、放火
計	19	16	3	

(イ) 警戒出動

警戒出動件数は27件で、前年度より1件減少した。
交通事故等における危険物漏えいや、強風・大雨などの
自然災害により人命に危険が予想される時など、災害の
被害拡大防止のために出動した。

(ウ) 偵察出動

偵察出動件数は8件で、前年度より6件減少した。
火災と紛らわしい火煙の発見又は通報により、その真
偽を確認するために出動した。

(エ) 地水利調査

地水利調査は、消防活動に重要な意義をもつものである
ことから、毎月計画的に管内の地理、消火栓、防火水槽、
河川及び池、沼等を実際に調査し、現状把握に努めた。

イ 救急・救助活動の状況

(ア) 救急出動

救急出動件数は2,146件で、前年度より41件増加
した。

① 救急出動及び搬送人員

区 分	H30年度		H29年度		増 減	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
亘理町	1,405	1,295	1,447	1,297	△42	△2
山元町	716	683	654	617	62	66
管 外	25	24	4	1	21	23
計	2,146	2,002	2,105	1,915	41	87

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況						
	② 事故の種別 (単位:件)						
	区 分	H 3 0 年度	H 2 9 年度	増 減			
	急 病	1, 484	1, 420	64			
	一般負傷	210	245	△35			
	転 院	235	225	10			
	交通事故	159	152	7			
	そ の 他	58	63	△5			
	計	2, 146	2, 105	41			
	③ 地域別医療機関搬送人員 (単位:人)						
	区 分	H 3 0 年度	H 2 9 年度	増 減			
	管 内	亘理・山元町		432	316	116	
	管 外	仙 台 市		557	567	△10	
		岩 沼 市		738	758	△20	
		名 取 市		31	37	△6	
		そ の 他		244	237	7	
		計		1, 570	1, 599	△29	
	合 計		2, 002	1, 915	87		
	(イ) 救助出動						
	救助出動件数は24件で、前年度より1件増加した。						
	区 分	H 3 0 年度		H 2 9 年度		増 減	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数
	火 災	0	0	1	0	△1	0
	交通事故	10	4	12	9	△2	△5
	水難事故	2	2	2	2	0	0
	風水害等自然災害事故	0	0	1	1	△1	△1
	機械による事故	1	0	0	0	1	0
	建物等による事故	2	2	3	3	△1	△1
	ガス及び酸欠事故	1	2	0	0	1	2
	そ の 他	8	9	4	4	4	5
	計	24	19	23	19	1	0
	ウ 応急手当等の指導						
	管内の各種団体や企業、個人を対象に救命講習を実施し、応急手当の普及啓発に努めた。						
	区 分	H 3 0 年度		H 2 9 年度		増 減	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
	普通救命講習会	24	295	28	262	△4	33
	上級救命講習会	3	34	2	23	1	11
	一般救命講習会	40	1, 092	40	1, 033	0	59
	計	67	1, 421	70	1, 318	△3	103

項目及び
決算額
(単位:千円)

事業の執行状況

エ ドクターヘリの運用状況

平成28年10月28日から宮城県ドクターヘリの運用が開始され、平成30年度はドクターヘリで20件の救急搬送を行い、前年度より14件増加した。

急病や交通事故などで生命の危険が切迫している傷病者に救急の専門医師や看護師が救急現場で早期治療を開始することができ、短時間で救命救急センター等に搬送できることから、当管内の救急救命に大きく寄与している。

(5) 予防活動の状況

平成30年4月1日より違反对象物の公表制度が開始されたことに伴い、違反对象物の立入検査を重点的に実施し、是正に努めた。また、住宅用火災警報器の設置や維持管理、更新時期等について、組合広報紙やホームページへの掲載、啓発用チラシを郡内全戸に配布するなど普及促進活動に取り組んだ。

ア 防火対象物等の査察状況

学校・工場・病院等の防火対象物及び危険物施設を立入検査し、災害発生防止の指導を行った。

(単位:件)

区 分	H30年度 施設総数	立入検査実施件数		
		H30年度	H29年度	増 減
防火対象物	1,156	532	513	19
危険物施設	159	119	123	△4
計	1,315	651	636	15

イ 建築確認同意事務の状況

消防法第7条による建築確認同意について、消防法令に基づき審査を行い、適正な処理を行った。

(単位:件)

区 分	H30年度	H29年度	増 減
建築確認同意	91	105	△14
消防用設備等の設置審査	35	20	15
計	126	125	1

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																			
	ウ 危険物取扱事務の状況 危険物の規制に関する関係法令等の規定に基づき、書類審査及び施設検査を行った。																																			
	(単位:件)																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">H30年度</th> <th style="width: 15%;">H29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置及び変更許可</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>完成検査及び水張検査</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">△4</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>仮使用承認</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">△4</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H30年度	H29年度	増 減			設置及び変更許可	11	11	0			完成検査及び水張検査	10	14	△4			仮使用承認	4	4	0			計	25	29	△4		
	区 分	H30年度	H29年度	増 減																																
	設置及び変更許可	11	11	0																																
	完成検査及び水張検査	10	14	△4																																
	仮使用承認	4	4	0																																
	計	25	29	△4																																
	エ 予防広報活動 火災予防運動期間中に婦人防火クラブ員による巡回広報を実施、また、スーパーマーケット等において防火チラシ等を配布し、地域住民の防火思想の普及啓発に努めた。																																			
	オ 防災リーダー講習会 事業所において災害が発生した場合、的確に対処できるよう、消防用設備等の基礎知識を学び、放水訓練や煙体験、応急手当等、防災に関する技術を習得し、災害時に中心的な役割を担う防災リーダーの育成を図った。																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">H30年度</th> <th style="width: 15%;">H29年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加事業所数</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">△3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">△5</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H30年度	H29年度	増 減			参加事業所数	15	18	△3			参加者数	19	24	△5															
区 分	H30年度	H29年度	増 減																																	
参加事業所数	15	18	△3																																	
参加者数	19	24	△5																																	
カ 亶理地区防災安全協会事務局 亶理郡内の危険物取扱事業所、防火管理者を有する事業所等を会員とする組織（217事業所）の事務を行っている。 年間事業として、防火講習会及び防火訓練、視察研修、救命講習会、啓発活動（防災関係資料、ポスター配布）並びに防災情報の提供等を行った。																																				
キ 婦人防火クラブの育成指導 「防火は地域・家庭から」の誓いのもと全戸加入を推進すると共に、消火器の取扱訓練や防火講話等を行い、防火・防災の啓発にあたった。また、クラブの基幹事業として、県、仙台南地方消防連絡協議会等主催の婦人防火クラブ大会や研修会等に積極的に参加し、クラブ員の育成指導に努めた。																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">区 分</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">H30年度</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">H29年度</th> <th colspan="2" style="width: 23%;">増 減</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">団体数</th> <th style="width: 15%;">会員数</th> <th style="width: 5%;">団体数</th> <th style="width: 15%;">会員数</th> <th style="width: 5%;">団体数</th> <th style="width: 18%;">会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区防火クラブ</td> <td style="text-align: center;">74</td> <td style="text-align: center;">12,394</td> <td style="text-align: center;">72</td> <td style="text-align: center;">11,782</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">612</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H30年度		H29年度		増 減		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	地区防火クラブ	74	12,394	72	11,782	2	612											
区 分	H30年度		H29年度		増 減																															
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数																														
地区防火クラブ	74	12,394	72	11,782	2	612																														

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																								
	<p>ク 幼年消防クラブの育成指導 幼年消防クラブ10団体、482人に対して、防火講話や防火映画の上映、避難訓練等を行い、防火意識の高揚を図りクラブ員の育成指導に努めた。</p> <p>(6) 消防団への訓練指導 地域の暮らしの安全を守るうえで、非常に重要な役割を果たしている消防団の組織力の維持・向上に資するよう、訓練指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="525 551 1453 875"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">亶理町消防団</th> <th colspan="2">山元町消防団</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>受講者数</th> <th>回数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型ポンプ操法</td> <td>16</td> <td>167</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動車ポンプ操法</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>初任団員訓練</td> <td>1</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>仙台南消連協</td> </tr> <tr> <td>礼式訓練(幹部)</td> <td>1</td> <td>245</td> <td>1</td> <td>54</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>426</td> <td>2</td> <td>65</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 今年度は、操法大会を実施しなかったため、自動車ポンプ操法が0件であった。</p> <p>(7) 県移譲事務の状況 「火薬類取締法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に係る権限移譲事務を次のとおり処理した。</p> <p style="text-align: right;">(単位:件)</p> <table border="1" data-bbox="528 1193 1453 1379"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H30年度</th> <th>H29年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火薬類に係る事務</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>液化石油ガスに関する事務</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>△5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>△2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) 亶理消防署一般公開の開催 一般公開を通じて火災予防の普及啓発と防災意識の高揚及び防火対策の推進を図るとともに、亶理消防署の魅力を地域住民にPRした。 【開催日時】平成30年7月28日(土)10時~13時 【実施内容】 体験エリア 庁舎内見学、濃煙体験、応急手当、防災展示 防火服着装体験、消防服展示、水消火器体験 エアテント展示 展示エリア 消防車両・資機材の展示、救助訓練の実演、放水体験 説明会等 女性消防吏員による講演会、消防吏員採用説明会 【来場者数】228名</p>	区 分	亶理町消防団		山元町消防団		備 考	回数	受講者数	回数	受講者数	小型ポンプ操法	16	167	0	0		自動車ポンプ操法	0	0	0	0		初任団員訓練	1	14	1	11	仙台南消連協	礼式訓練(幹部)	1	245	1	54		計	18	426	2	65		区 分	H30年度	H29年度	増 減	火薬類に係る事務	10	7	3	液化石油ガスに関する事務	0	5	△5	計	10	12	△2
区 分	亶理町消防団		山元町消防団		備 考																																																				
	回数	受講者数	回数	受講者数																																																					
小型ポンプ操法	16	167	0	0																																																					
自動車ポンプ操法	0	0	0	0																																																					
初任団員訓練	1	14	1	11	仙台南消連協																																																				
礼式訓練(幹部)	1	245	1	54																																																					
計	18	426	2	65																																																					
区 分	H30年度	H29年度	増 減																																																						
火薬類に係る事務	10	7	3																																																						
液化石油ガスに関する事務	0	5	△5																																																						
計	10	12	△2																																																						

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																								
	(9) 主な支出 <div style="text-align: right;">(単位:円)</div>																																								
	<table border="1"> <tr><td>消防職員用被服</td><td></td><td>1,558,092</td></tr> <tr><td>消防デジタル無線及び通信回線利用経費</td><td></td><td>5,168,044</td></tr> <tr><td>メディカルコントロール業務委託料(宮城病院、総合南東北病院)</td><td></td><td>927,720</td></tr> <tr><td>消防指令システム・デジタル無線保守点検料</td><td></td><td>7,325,640</td></tr> <tr><td>消防用ホース</td><td>12本</td><td>395,280</td></tr> <tr><td>AED</td><td>1器(更新)</td><td>452,844</td></tr> <tr><td>高圧空気容器</td><td>3本(更新)</td><td>450,360</td></tr> <tr><td>安全マット</td><td>1個(更新)</td><td>286,200</td></tr> <tr><td>複合ガス検知器</td><td>1台(更新)</td><td>297,000</td></tr> <tr><td>バスケットストレッチャー</td><td>一式(更新)</td><td>469,800</td></tr> <tr><td>エアソー</td><td>一式(更新)</td><td>308,880</td></tr> <tr><td>潜水用ドライスーツ</td><td>1着(更新)</td><td>231,120</td></tr> <tr><td>訓練用ダミー人形</td><td>1体(水難・陸上兼用)</td><td>213,840</td></tr> </table>	消防職員用被服		1,558,092	消防デジタル無線及び通信回線利用経費		5,168,044	メディカルコントロール業務委託料(宮城病院、総合南東北病院)		927,720	消防指令システム・デジタル無線保守点検料		7,325,640	消防用ホース	12本	395,280	AED	1器(更新)	452,844	高圧空気容器	3本(更新)	450,360	安全マット	1個(更新)	286,200	複合ガス検知器	1台(更新)	297,000	バスケットストレッチャー	一式(更新)	469,800	エアソー	一式(更新)	308,880	潜水用ドライスーツ	1着(更新)	231,120	訓練用ダミー人形	1体(水難・陸上兼用)	213,840	
消防職員用被服		1,558,092																																							
消防デジタル無線及び通信回線利用経費		5,168,044																																							
メディカルコントロール業務委託料(宮城病院、総合南東北病院)		927,720																																							
消防指令システム・デジタル無線保守点検料		7,325,640																																							
消防用ホース	12本	395,280																																							
AED	1器(更新)	452,844																																							
高圧空気容器	3本(更新)	450,360																																							
安全マット	1個(更新)	286,200																																							
複合ガス検知器	1台(更新)	297,000																																							
バスケットストレッチャー	一式(更新)	469,800																																							
エアソー	一式(更新)	308,880																																							
潜水用ドライスーツ	1着(更新)	231,120																																							
訓練用ダミー人形	1体(水難・陸上兼用)	213,840																																							
	消防広域化に向けた整備事業 (単位:円)																																								
	<table border="1"> <tr><td>夏・冬制服一式(121名分)</td><td></td><td>11,009,628</td></tr> <tr><td>防火服一式 (121名分)</td><td></td><td>26,562,016</td></tr> <tr><td>活動服一式 (121名分)</td><td></td><td>15,942,204</td></tr> <tr><td>救急服一式 (21名分)</td><td></td><td>3,267,216</td></tr> <tr><td>救助服一式 (22名分)</td><td></td><td>3,415,608</td></tr> <tr><td>防寒服 (121名分)</td><td></td><td>1,894,860</td></tr> <tr><td>雨衣 (121名分)</td><td></td><td>2,352,240</td></tr> <tr><td>車両表示用消防本部名変更(27台分)</td><td></td><td>1,596,456</td></tr> <tr><td>岩沼消防署用什器(デスクワゴン等)</td><td></td><td>3,769,200</td></tr> </table>	夏・冬制服一式(121名分)		11,009,628	防火服一式 (121名分)		26,562,016	活動服一式 (121名分)		15,942,204	救急服一式 (21名分)		3,267,216	救助服一式 (22名分)		3,415,608	防寒服 (121名分)		1,894,860	雨衣 (121名分)		2,352,240	車両表示用消防本部名変更(27台分)		1,596,456	岩沼消防署用什器(デスクワゴン等)		3,769,200													
夏・冬制服一式(121名分)		11,009,628																																							
防火服一式 (121名分)		26,562,016																																							
活動服一式 (121名分)		15,942,204																																							
救急服一式 (21名分)		3,267,216																																							
救助服一式 (22名分)		3,415,608																																							
防寒服 (121名分)		1,894,860																																							
雨衣 (121名分)		2,352,240																																							
車両表示用消防本部名変更(27台分)		1,596,456																																							
岩沼消防署用什器(デスクワゴン等)		3,769,200																																							

